

◆東京保険医協会 病院有床診療部 第10回救急医療シンポジウム◆

— 循環器疾患に対する効果について検証する —

地域包括ケアとあるべき救急搬送の姿

2018年度診療報酬改定では入院料の大再編が行われ、いわゆる「地域包括ケアシステム」の実現に向けて厚労省が本格的に動き始めています。東京都では地域医療構想調整会議が定期的開催され、二次医療圏ごとに病床のあり方が検討されています。それぞれの病床におけるあるべき姿や地域医療そのものを俯瞰し、救急医療がどのように変化していくのかを考えていくことが今後ますます重要です。東京では救急難民を発生させない東京ルールが運用されていますが、地域医療構想の中であるべき救急搬送の姿を考えていきます。

また、今回は特に救急搬送における循環器疾患に焦点を当てて、救命救急の効果等を検証できればと思います。

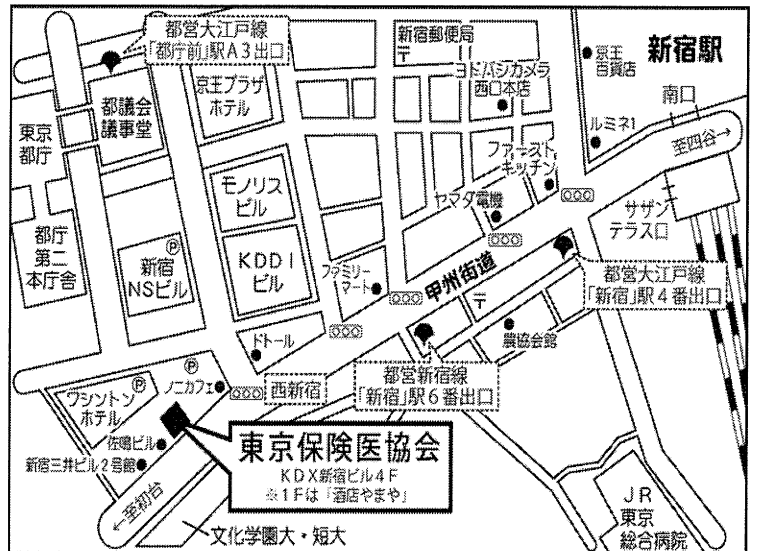
【シンポジスト】

■ 有賀 徹 氏	独立行政法人労働者健康安全機構理事長
■ 幡 芳樹 氏	医療法人社団健心会 みなみ野循環器病院院長
■ 行本 理 氏	都・福祉保健局医療政策部救急災害医療課課長
■ 江原 浩仁 氏	東京消防庁救急部救急医務課課長

【会場】東京保険医協会セミナールーム（新宿区西新宿3-2-7KDX 新宿ビル4階）
（JR「新宿駅」南口より徒歩10分）

7/20(土)
午後3時
~6時

参加無料
先着順
定員70人



【参加申込】送信先：病院有床診療部 行>>>FAX:03-5339-3449

※申込後のこちらからのご連絡はいたしません。当日会場にお越しください。

いずれかに○印をつけてください		院長名または代表者名	
会員 ・ 会員外 ・ 一般		医療機関名またはご所属名	
参加者名		参加人数	人
TEL 番号		FAX 番号	

【問合せ】東京保険医協会 病院有床診療部（担当：長尾）

新宿区西新宿3-2-7KDX 新宿ビル4F TEL:03-5339-3601 FAX:03-5339-3449